

那珂市議会教育厚生常任委員会記録

開催日時 平成 28 年 5 月 18 日（金） 午前 10 時

開催場所 那珂市議会全員協議会室

出席委員 委員長 古川 洋一 副委員長 筒井かよ子

委員 大和田和男 委員 富山 豪

〃 萩谷 俊行 〃 君嶋 寿男

欠席委員 なし

職務のため出席した者の職氏名

事務局長 深谷 忍 事務局次長 寺山 修一

次長補佐 横山 明子

会議に付した事件と結果概要

付託案件

（1）所管事務調査について

結果：調査研究テーマを「子育て支援」に決定

議事の経過概要（出席者の発言内容は以下のとおり）

開会（午前 9 時 58 分）

委員長 皆様おはようございます。

教育厚生常任会を招集いたしましたところ、皆さんご参加いただきましてありがとうございます。

農業を始められた方もいらっしゃるようで、皆さんお忙しい日を過ごされていることと
思いますが、きょうは今年度、ことしの調査事件のテーマを決めて、定例会中に具体的
にお日にちとか内容とかを決めたいと思いますので、きょうはテーマを決めさせていた
だきたいと思ひまして、招集をさせていただきましたので、よろしくお願ひしたいと思ひ
ます。簡単ですが、ごあいさつは以上とさせていただきます。

それでは、ご連絡いたします。

会議は公開しており、傍聴可能といたします。

また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送いたします。

会議内での発言は必ずマイクを使用していただきまして、質疑答弁の際は簡潔かつ明瞭
にお願いをいたします。

携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りいただきますか、マナーモードにしてください
ますようお願いいたします。

ただいまの出席委員は、6名であります。欠席はございません。

定足数に達しておりますので、これより教育厚生常任委員会を開会いたします。

職務のため、議会事務局職員が出席をしております。

それではこれより議事に入ります。

所管事務調査についてを議題といたします。

教育厚生常任委員会のメンバーも新しくなりまして、委員会としてテーマを決めて調査研究に取り組んでいきたいというふうに考えております。

そこできょうは皆さまからご意見をいただきまして、研究のテーマと今後のスケジュール等を検討していただきたいというふうに思います。

では、早速ですが、所管事務調査についてというお話は、事前にファクスで皆さんのところについてますよね。もし皆様のほうで、こういうテーマについて、これから研究していきたいというようなことがございましたら、まず皆さんのほうからお願いしたいんですけど、いかがでしょうか。

副委員長 ファックスをいただきまして、ちょっと私なりに考えてみましたところ、那珂市では保育所の病児保育っていうのが割と少ないような気がします。

他の地域を見ますと、結構病児保育に対して積極的に取り組んでいる自治体もありますので、その辺も私は子育て支援の一環として、保育園を利用しているお母さん方に対しての、そのような方面も調べていきたいなと思っております。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

君嶋委員 今現在那珂市で行われている、まち・ひと・しごと地方創生事業の中でも、子育てを中心にしていきたい、教育厚生はこの部門では、やはり安心して子育てのできる環境作りとか、やはり子供たちが安心して過ごせる環境作り、いろんな課題を残しているものですから、その点を踏まえて、いろんなアンケートをとった中でもやはり、今若い世代、子育てをしている世帯がやはり今、筒井副委員長も言ったように、病児とか、病気になった場合の子供たちへの病院の体制、医療福祉、その点についても、まだまだ那珂市においては、若干遅れがあるかなという点もあるものですから、そういう医療関係について、特に小児科等についてとか、そういう面についてもこれから調査研究してもよろしいのかなという考えはあります。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

大和田委員 学校教務の関係なんですけど、新聞等にもあったんですけども、教科書もデジタル化になるということで、この市内でも各学校に40台、タブレットが支給されたということで、ここはICTの教育なんか少し進んでいくのかなと思いますので、そういったところを研究調査して、今後どのように活用していったら、もちろん生徒指導もそうなんで

すけども、校務の支援なんかもして行って、先生たちの教務の研修を図って子供たちの教育のために使ってもらいたいなと思うんですけども、そういったのもこの委員会で少し検討していただけたらと思います。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

ほかにございますか。

萩谷委員、富山委員、特にはないですか。

萩谷委員 確かにいろいろあると思んですが、やはりお父さんお母さんが子供に対して、昔と違った感覚になってきているなといつも思っているんですよ。

そういうところもね、やっぱり教育について少し、方向性としてはね、いろいろなこと調査というか、教育委員会なんかともしっかりと、考え方、教育の方針なんかについてやっぱり教育委員会ともいろいろ話し合っって、問題点とか、そういうことをやっていくのも、少し大まかすぎますけども、いいのかなとか思いますよね。

確かに大和田委員からも出ましたけども、デジタル化になったりとか、そういうのが本当に子供たちにとって、よくゆとりの教育と言っているけども、案外なくなっちゃうのかもしれないし、そういうのもいいかもしれませんが、いろんな面でね、やっぱり教育委員会なんかも独自の考え方も必要だと思うんですよ。

国の方針を何が何でもやるってわけじゃないんだから、那珂市独自のね、教育方針とか、それというのがどういう考えを持っているかということもやっぱり話し合いしながらね、いくのも、私らの役目かなというふうには思ってるんですよ。

少し大まかすぎますが、以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

富山委員 多少ミクロの話になってしまうんですけど、細かい部分の。

私PTAをやっているところに、中学校のです。指導できる部活動の先生がいなくて。

他市町村では結構外部指導の指導員を招聘してやっている中学校区もあるみたいで、そういう現状の中でやっぱり指導できる外部指導のほうを、市のほうでもどのように取り組んで入れていけばいいのか。

PTAの方の要求も結構先生が全くそのスポーツの素人であるとか、そうすると、外部指導入れてほしいとか学校側とのやりとりの中で結構いろいろ何かもめたり、懸案事項が挙がったりってということが聞こえますので、他市町村でどのような取り組みをしているのかっていうのは調査をしていただけたらなと、そのように思います。

君嶋委員 いろいろな活発な意見をさせていただくのに、今の富山委員からの外部指導、実際今現在も動いてはいるんです。各学校の中で。

ただスポーツの関係の中に、学校と指導者との関係もあるんでしょうけど、実際幾つかはもう既に入っているのが事実なんですね、多分柔道なんかはそういう関係もあるのかな

っていうのもありますけど、どこまで入っているか、やっぱり指導者っていうのは教員じゃないということで、生徒と指導者との関係、高校になると義務教育はちょっと外れるから、そういう面ではどんどん外部指導者も入ってくる可能性ありますけど、義務教育となるとその辺での調整、でも実際那珂市でも今現在、外部指導者が入っているところはあるということをおも報告は受けています。

富山委員 学校によってその外部指導の入れ方がまちまちであって、統一性がないから、結局、ある学校では校長先生がいいと言えれば外部指導入れられます。でも、ある学校では、PTA、結局その保護者が全員オーケーしなければ、外部指導入れられないとか、やっぱりやり方が、統一性がないもので、外部指導入れるほうも困っちゃってる状況もありますので、その辺を何か統一のあることをやっている地区があれば、ちょっとモデル的に調査していただきたいなと思います。

君嶋委員 すみません、昨年、私ら教育厚生委員会にいたときにですね、那珂市の医師会との懇談会をやらせていただいたときにも、ちょっといろんな話が出たのは、日曜診療について、これもやはり各県内見ると、診療時間がまばらで、那珂市は多分11時半ぐらいで、当番制の病院がもう診療は終わりと。

受け付けの時点だと思うんですけど、そういう面でもっとやはり先ほど言ったように、子供さんを持っている方っていうのは、夕方とか夜中にも熱が出る、そういう面でもこの病院にかかればいいのかとそういう体制をもっと充実するとか、日曜も一日診療してもらえる場所があれば、安心して子育てもできるのかなとそういう面もあるんで、私はちょっとそういう医療体制の充実を図ってもらえるような研究もひとつしていただければなと、特に医師会との懇談会のときにも、そういう先生も場所があればそこで当番制でやってもいいとか、これ負担も多少市のほうから負担も出る思うんですけど、やはりこの那珂市で子育てする、安心して皆さんここで住んでもらうための医療体制は必要かなと思いますので、その点もちょっとつけ加えさせていただきます。

委員長 はい、ありがとうございます。

今大きく分けまして、今皆さんから出た意見は、子育て、医療問題も含めた子育て支援という部分と、それから萩谷委員や大和田委員から出ましたように、子供に対してこれから那珂市としてどうやって教育をしていくんだ、子供の接し方も含めという部分、そして富山委員のほうからは、部活動に対する外部指導員を積極的に招聘といいますか、できるようにするためにはどうしていったらいいのかという部分を研究していきたいというお話だと思うんですけど。

委員会は実際2年間ございますので、一度にテーマを二つ三つ決めてという方法もありますし、今年度はこれやりましょう、来年度はあれをやりましょうという方法がありますので、今皆さんから出たような意見を尊重して、できれば皆さんから出たテーマでやっていければなというふうに思いますけど、また、来年になればまた来年のね、大きくという

か、最優先で取り組まなきゃいけないようなテーマなんかも出てくるかもしれませんので、ことしはことしで、一つまたは二つ、1年間かけてやらなくたっていいわけですよ、半年ずつ研究が終わればまた次のっていうことになりますので、その都度、またいろいろ決めてはいきたいと思えますけども。

今皆様にお配り致しますのは、3月の定例会で閉会中に継続調査をしたいということで申し入れをしておりますので、そこに書いてある調査事件ですね、1番から7番でありますけども、こういったことについて調査できますよと、させていただきますということでお願いをしているわけですから、この中に、今の学校教育の運営とか、医療体制も含めたその健康予防の行政とか、高齢者、障害、社会福祉とかすべてが含まれていると思えますので、大きくこんな感じで、テーマを決めてもいいし、もうちょっと具体的に医療問題とか、教育方針とか、そういうものにしてもいいと思えますけども。

今皆様のほうからいろいろご意見というか、ご提案がございましたけど、きょうもし皆様のほうからね、何もご提案がなかったらと思って、それをちょっと心配して私も個人的にはいろいろ考えてはきたんですけど、私の考えをちょっと述べさせていただきますと、那珂市が実施しております市民アンケートにおきまして、子育てにおいて那珂市はご承知のとおり住みよさランキングのね、県内で3位に入っているということもありますけども、その中で親御さんが子育ての中で1番悩んでいるというか、不満だと言っていること、そのアンケートの答えで断トツなのが、やはり医療関係なんですね。

先ほど副委員長からも病児保育の話、君嶋委員のほうからも、小児科とかが不足して、あとは日曜日の休診なんかの場合の対応という話もありましたけども、それがアンケートでも断トツでそれが今不満だということを出ている以上、教育厚生委員会としても、それに取り組まないわけにはいかないなということをやちょっと考えまして、私もそのいろんな部分での医療問題、小児科だけじゃなくて産婦人科なんかも、那珂市にはないですよ。

その水戸とかひたちなかに大きな病院があるからね。あるから、どこにでも行けるという意味での住みよさという部分も多分あるんだと思うんですね。

ですから、那珂市の中で例えば病院建ててくれとか、言ってもなかなか難しい部分がありますけども、そういった中で那珂市として取り組めること、対応はないのかなということで、それをまず、市民の一番の大きい声ですから、それをやらなければならないなということで私のほうはそれを医療、広い意味で医療問題とか、もうちょっと広げれば子育て全般において、それをちょっと考えていかなければならないのかなということで考えてまいりました。

今言いましたように、例えば病院建てろといっても無理だし、医者呼んでこいって言ったってなかなか難しい。話によると、なかなかお医者さんの子供さんはどうしても医療系の大学に進む場合が多いし、となるとこの辺に住んで子供さんを向こうに通わせるっていうのはなかなか難しい。

そうすると聞いた話では何か土浦とかつくば以南に住んで東京に子供さんを自宅から通わせるようなことができるのは、やはり向こうのほうなんだっていう話も聞いたことがあります。

本当かどうかわかりませんが、なかなか難しい部分があるんですけども、そういった中で那珂市として対応するには、まず我々がその医療問題についてきちんと勉強しなきゃいけないんじゃないのかなと、どうしろこうしろという要望の前にね。

そういったことで、個人的には、これから視察先とかそういう話になりますけど、国のほうのね、例えば厚生労働省とかそういったところで勉強する機会をね、一回行って、ただ先進地を視察するだけじゃなくて、その国のほうの政策というか方針というか、全体的な医療問題とか医師不足とかいう部分の対応を国がどのように考えてるのかという部分もね、ちょっと勉強してみたらいいのかなというふうに思うんですね。

いつもやはり先進地の市町村の視察を考えてますけど、そういう勉強という意味でもね、国でそういった勉強会なんかをやらせてもらえたらな、できないのかななんてことをちょっと考えました。

これは私の個人的な意見というか、提案ですけども。

いかがでしょうか、いろいろな意見が出ましたので、別に私が言ったから、じゃそれってということじゃなくて結構ですので、皆様のほうでこれ優先的にやってほしいっていう、先ほど皆さんから出たものがありますけども、今すぐに今年度やったほうがいいか、それとも例えば、可能なら来年でもいいよということなのか、その辺どうでしょうかね。

大和田委員 どうですか。

大和田委員 先ほど委員長から話もあつたんですけども、私先ほど言ったデジタルがどうか、ICT教育は確かに喫緊の課題ではないというか、今後先を見通した事業なのかなと思いますので、皆さんもICTって言われても多分、はてなっていう状況だと思うので、そういったのは皆さんアンテナを立ててもらえたらなと思うんですけども、また、自分もまだ3歳の子供がいて、ちょうどそれこそ病児保育、本当にそのとおり。

那珂市どうしたらいいんだみたいなね、どこかほかの市町村に預けるのかって言ったら預けられないし、とても喫緊な課題なのかなと思ってますので、本当にこの委員会をお借りして、私の子育ても少しでもよくなればなとは思っていますので、そういったのをみんなで研究していけたらと思いますので、はい。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

富山委員の先ほどの外部指導員の話は、私だったら一般質問しちゃいますけど。

富山委員 委員長のおっしゃるとおりでございます。一般質問で考えたいなと思います。

それとあと、私の思いなんですけど、今思い出してみるとそうですね、子供が熱を出すのなんて日曜日が多いんです。本当に病院が休みのとき、熱出して病院探しているのを

やった記憶がよみがえってまいりました。

やっぱり子育てアンケートの中でそれだけ小児科医療に対して、不満を抱えている人が多いという中では、やっぱり最優先に取り組む喫緊の課題であるっていうのは認識しましたので。

萩谷委員 今委員長から話出ましたけども、厚生省ですか、先進地っていつてもなかなか、医療福祉で病院の問題といっても、大変難しいなと思うんですよね、先進地視察しても。

さっき言ったように誘致するとか、市がどれだけできるかもわかんないし、例えばの話ですけど、そういうところに行って逆に勉強しちゃったほうが、逆にいいのかもしれないよね。

少しかいことかもしれませんが、先進地よりもそういうところで考え方がいろいろね、少子化っていうのが一番の問題になっているわけですから、そういう意味では那珂市にやっぱり住めるような、さっき君嶋委員も言ったように、住めるようなまちづくりをしていってもらわないと困るわけですよね。執行部に対しては。

それを私たちがどうにか訴えていくということが一番だと思うので、やっぱり少子化対策が一番だと思ってますので、それに対して医療とか、子供を産んでも、やっぱり安心して預けられる保育所とか、いろいろありますよね。

今度幼稚園も、三年後でしたっけ、公立は一つになっちゃうと。そういうこともいろいろ考えながら、テーマとして、主体的なね、いろいろ大和田さんとか富山さんとか意見がありますけども、何と言ったって一番最優先だっていう形の少子化に関連するものですか。

まず1年目、半年かどうかわかりませんが、まずやっていくのが、委員会としてはいいのかなと思ってますよね。委員長のというような形もいいと思いますよ。

委員長 はい、ありがとうございます。

もう一つ、先ほどアンケートの話をしていただきましたけれども、もう一つ不満と言いますか、要望としてアンケートの結果が出てるのは、遊具、公園とかの遊具の問題、結局公園に遊具をね、設置してくれということなんだと思うんですけど、なかなかこれも難しい問題で、一方では遊具をどんどん撤去していく方向の自治体が非常に多いんですよね。

これはなぜかという、やっぱり事故だとか、けががあったときに、どうしても責任が行政とか、そういったところに及んでくる。

だから、設置してくれという声と、どんどん撤去していくっていう両方が今あって、実はうちの自治会なんかでも、遊具を設置してくれと。つまり、子供の居場所をやっぱりつくるべきだと。外で遊ぶような。そういう声がある中で、じゃそれをだれが管理するんだというね、今市内の公園って意外と、ちょっとした児童公園、住宅地なんかにある公園って自治会が管理してたりしますよね。

外の自治会でも多分そうだと思うんですけど、そうするとじゃ誰が管理するんだ、どうやって管理するんだと。けがした場合の対応はどうなんだというので、どうしてもそうい

う心配もせざるを得ないということでなかなか難しいなということで、これもそういう答えが、先ほども言った医療問題、医師不足、病院不足に次いで多かった答えなんですよ。

こういったことも含めて、それも一つの子育てという、ちょっと広げればね、部分なので、医療ということだけにしちゃうとそのテーマしかできなくなっちゃうんで、そういうことも含めた子育て支援全般についてをテーマにすれば、またその中でね、いろんな勉強もできると思うんで、そういったことで、どうでしょうかね。皆さん。

副委員長 いかがですか。

副委員長 はい、そうですね、子育て支援に対する取り組みはやっぱり、急務だと思いますので、よろしいかと思います。

先ほど私病児保育の件を言いましたが、ちょっと調べてみますと、つくばみらい市なんかはかなりあちこちに何件かこういう病児保育を扱う保育所があるというような記事が出てるんですね、確かにあっちのほうは、ここよりはもう少し、はるかにでしょうか、進んでるかと思いますが、実際にお母さんが仕事に行って、熱があるっていうとすぐ呼び出されるんですよ。

そうすると、その日はいいんですが、その次の日また会社に行けない、どうしましょってことになりますので、本当にお母さん方にとっては切実な問題だと思いますので、この辺もぜひ今回のテーマとして、今委員長が言われたように、大きな意味での子育てに関する医療問題について、されてはどうかと。私も賛成でございます。

委員長 はい、ありがとうございます。

では、どうでしょうか、何か私が自分で提案してってということだとあれなんですけど。

君嶋委員 皆さんの意見も聞いてると、やはり子育て関連の医療体制ということもありますし、委員長が市民アンケートの内容等も報告していただきながら、やはり市民の考えというのを入れると、やはりそういう医療体制の充実、子育ての環境作りというものもあるんで、そういう面をもう委員長にお任せして、その辺でまとめていただければと思います。

皆さんそういう感じの意見が出てきたかなと思います。

あと、先ほどいろんなICT関係、デジタル化、そういうのもこれからの課題になってくると思うし、富山委員も言ったように外部指導、萩谷議員も以前やってますから、そういう面でも一般質問しながらということですけど、そういう課題もこれから一つ一つ挙げてやっていくべきかと。一番いいのは、やはり皆さんの意見のまとめでは、医療体制とか子育て支援の方向で今回は調査研究してもいいのかなと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

それでは先ほども言いましたけど、医療問題というかそういうのも含めた子育て支援全般について、子育て支援についてというようなテーマでいかがでしょうかね。

よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

委員長 調査研究終了するまでね、それが1年か2年かかるかわかりませんが、いずれしても何らかの答え、別に答えといっても、こうしろああしろという答えが出なくてもね、勉強することも調査ですから、結果的に国に要望書を出すとか、そういったことで終わっている他の議会もありますけども、決して要望を出さなければいけないということもないので、そういった勉強していくということで、その中でね、那珂市としてこうすべきああすべき、または要望として出すべきというものが出来れば、それは入れればいいだけの話なので、子育て支援についてというようなテーマで、今後研究していくということでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 それではですね、今後のスケジュールなんですけど、先ほど私が申しましたとおり、まずきちんとね、国の考え、政策、それからやろうとしていること、予算等について少し私はまず勉強すべきかなと思ってるんですね。

その一方で、どこか先進地がもしあれば、自治体も絡めて、視察とかを行ってきたいなというふうに思うんですけども、時期的には、そういう意味で余り遅らせると、結局それまで何もできないので、まず勉強するというようなことを考えますと、早い時期に、早速にですね、行いたいなというふうに思っております。

つまり、9月の定例会終わりますと、秋はいろいろ、議会報告会とかも予定されているようですので、そういったことも考えますと、できれば6月の定例会から9月の定例会の間、夏場の暑い時期ではありますけども、その間になるべく早目に、できれば定例会終わりますして7月か8月のお盆前、8月上旬ぐらいあたりにそういう勉強をしていきたいなというふうに思ってるんですけど、ただ問題は、7月の、今のところ予定ですけども、7月10日に参議院選が予定されてきますので、そうするとなかなかこう、国のほうでね、例えば厚生労働省とか行って勉強させていただきたいといっても、なかなか対応が難しいといったこともあるので、とりあえずは参議院選が終わってからなのかなと思うんですが、ただ、いかんせん今のところその7月10日というのは、あくまで予定でございますので、その辺の動向を見きわめながら、それによって判断していきたいと思っておりますけども、いずれにしても7月の下旬から8月の中旬ぐらいにかけて行けたらなというふうに、私は希望として思っておりますけども、いかがでしょうかね。

先ほどの内容も含めてですけども、どういったところでどういうことを勉強してくるか、いつごろやるかという部分については、正副委員長にご一任いただくということでいかがでしょうか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 では子育て支援について、そして視察については、6月定例会後、できれば、参議院選、予定ですけども、それが終了してから9月の定例会前までにということ一度勉強し

てくるということで、その辺だけきょう決めさせていただきまして、内容等の具体的なことは正副にご一任をいただくということでよろしく申し上げます。

本日の議題は以上ですけれども、皆様のほうから何かございますでしょうか。

特にないようですので、本日の審議は以上といたしまして、以上で教育厚生常任委員会を閉会したいと思います。

ありがとうございました。おつかれさまでした。

閉会（午前10時30分）

平成28年6月3日

那珂市議会 教育厚生常任委員会委員長 古川 洋一